

製品名: KCNG3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12936**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	50kDa

抗原情報

遺伝子名	KCNG3
別名	KCNG3; Potassium voltage-gated channel subfamily G member 3; Voltage-gated potassium channel subunit Kv10.1; Voltage-gated potassium channel subunit Kv6.3
遺伝子 ID	170850.0
SwissProt ID	Q8TAE7
免疫原	抗血清はヒト KCNG3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 183-232

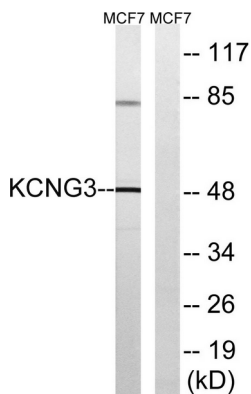
背景

電位依存性カリウム (Kv) チャンネルは、機能的および構造的観点の両方から、電位依存性イオンチャンネルの中で最も複雑なクラスに

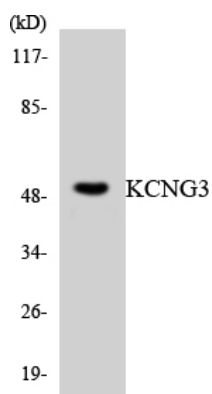
属します。その多様な機能には、神経伝達物質の放出、心拍数、インスリン分泌、神経細胞の興奮性、上皮細胞の電解質輸送、平滑筋の収縮、細胞容積の調節などがあります。この遺伝子は、電位依存性カリウムチャンネルサブファミリー G のメンバーをコードしています。このメンバーは、調節分子として機能するガンマサブユニットです。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする2つの転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2008年7月],ドメイン: セグメント S4 はおそらく電位センサーであり、3つおきに正電荷を帯びたアミノ酸配列を特徴とします。機能: カリウムチャンネルサブユニット。チャンネルの活性を調節します。類似性: カリウムチャンネルファミリー G サブファミリーに属します。細胞内局在: 細胞膜に挿入されるには、KCNB1 または他のパートナーと結合する必要があります。KCNB1 が存在しない場合には細胞内に留まる。サブユニット: KCNB1、KCNC1、KCNF1 とのヘテロ多量体。ホモ多量体を形成しない。組織特異性: 小脳を除く脳の多くの部位、精巣、膵臓、肺、腎臓、卵巣、小腸、結腸、胸腺、副腎、脊髄で検出される。

研究分野

画像データ



KCNG3 抗体を用いた MCF-7 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



KCNG3 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。

KCNG3 ポリクローナル抗体を用いた MCF-7 細胞のウェスタンブロット解析

